

真の神様が、この世に来られたのは人々が救われる為である。人間にとって一番大事なことは救われることである。江戸時代は仏教を求めて、災いに陥った。また明治時代には、神道を作って神道を信じるようになった。現在は、様々な新興宗教におぼれるようになった。今年から、日本がキリスト教国家の時代になることが本格的に行われるように。

イエス様は、中東の熱い地域の井戸の前に座っていた。霊的に飢え乾いていたサマリヤの女が、昼間の誰も汲みにこない時間に水を汲みにきた。その時に、イエス様が、サマリヤの女に救いを伝えた内容である。

1.イエスキリストの生ける水	2.イエスキリストの食物	3.伝道の祝福
▲主が生ける水であることを教えるために生ける神の水であると言われた。 1)ヨハネ 4:6-7(ヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れで、井戸のかたわらに腰をおろしておられた。時は六時ごろであった。ひとりのサマリヤの女が水をくみに来た。イエスは「わたしに水を飲ませてください。」と言われた。) ・ユダヤ人は、サマリヤ人を相手にしていなかった。 ・しかし、イエス様はサマリヤの女に話をかけて質問していった。 ・サマリヤの女は、5回の結婚と離婚を繰り返しており、周りから軽蔑をされていた。 ・女は、真の幸せと満足がなかったので、結婚と離婚を繰り返した。 2)ヨハネ 4:10(イエスは答えて言われた。「もしあなたが神の賜物を知り、また、あなたに水を飲ませてくれと言う者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めたことでしょう。そしてその人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」) ・イエス様が誰であるかを分かり、サマリヤの女が、生ける水を下さいと言った。 ・イエス様は、真の生ける水である。 ・人間にとって水は必ず必要であるように、真の命の水が人間には必ず必要である。 ・人間は霊的な満足がないといけない。真の満足はキリストの救いである 3)ヨハネ 4:13-14(イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渴きます。しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」) ・イエス・キリストの生ける水を飲む者は決して乾くことはない。 ・イエス・キリストだけで十分・完全・満足な信仰となるように。 ・福音で満足を得ないと他の物で満足を得ようとする。 ・イエス様だけが真の生ける水である。 4)ガラテヤ 5：22(しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実) ・聖霊が臨まれると、喜び、感謝、平安に満たされるようになる。 ・信じる時に恵みに満たされるようになる。 ・喜び、感謝、平安、愛に満たされないようにする暗闇の力をイエス・キリストの名前で打ち砕く。 ・私達はどこへ行っても祈ることが出来る。 5)ヨハ 4:24(神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません) ・私達は神殿であるので、どこでも主のための礼拝をすることを出来る。 ・イエス様だけで満足をすることが出来るように。 ・聖霊様がある人が礼拝をすることが出来る。 ○サマリヤの女は、キリストを分かち得た後すぐに伝道をするようになった(ヨハネ 4:28-30)。 ○創世記 3 章、6 章、11 章⇒使徒 1 章、3 章、8 章⇒心、考え、信仰が変わるようになる。 ○信仰に満たされると癒されるようになる(ヨハネ 4：50－53) ○私達の救いは完全なものである—イエス様だけで十分・完全・満足な信仰となるように。	▲イエス様の前に食物を持ってきた時に、イエス様は他の食物があるからいらないという。 —ヨハネ 4:32(イエスは彼らに言われた。「わたしには、あなたがたの知らない食物があります。」) ○食物とは、伝道のことである。 1)ヨハネ 4:34(イエスは彼らに言われた。「わたしを遣わした方のみこころを行ない、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です。」) ・イエス様の食物は、人を救い出すこと(伝道のこと)。 ・伝道が、私の優先事項である ・人は救われたいといけない。 2)ヨハネ 19:30(イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した。」と言われた。) ・イエス様が来られた理由が、人々を救い出すためである。 ・キリストが、十字架の上で全ての問題を完了された。 ・サタン・罪・神様から離れた問題を完了された。 3)マタイ 4:4(イエスは答えて言われた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。』と書いてある。) ・たくさんの苦しみの生活をするのは満足・幸せがない。 ・そのような人を救い出す事が一番大切なことである。	▲伝道の中に全ての祝福がある。 1)ヨハネ 4:35(あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある。』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。) ・サマリヤの人々で飢え乾いている人たちがたくさんいた。 ・救われる人々が待っている。 ・日本人の人々も救われたいと思っている人が大勢いる。 ・自分の回りの人たちに福音を伝えることが出来るように。 ・私達は福音を伝える伝道者。 2)ヨハネ 4:36(刈る者は報酬を受け、永遠のいのちに入れられる実を集めています。それは蒔く者と刈る者がともに喜ぶためです。) ・伝道者は先に報いをもらう。 ・伝道は、非常に大事な事である。 ・伝道資料を配布出来るように。 ・伝道は神の子ども達を通して成す ・私達が、神様の報いを受ける為。 ・伝道の中に全ての中に祝福がある 3)ヨハネ 4：41－42(自分で聞いて、この方がほんとうに世の救い主だと知っているのです。) ・命がない人に命を与える見張り人 ・24 時,25 時,永遠の恵みの中に入る ・私が見張り人として伝道をする ・私達がやぐらである。

現場地教会(2022 年 11 月 6 日～2022 年 11 月 12 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ

私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ

2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ

われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「至急な伝道運動」(ヨハネ 4:27-38)

【讚美】 256 目をあげ天を見よ

【祈り】

①教会の祈りの課題

※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。

②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

御座の祝福を 味わう (3・9・3 契約の 祈り)	【吐いて】主は生ける神の御子キリストです。 【吸って】いま神の御霊で満たしてください。 【吐いて】御言葉の力が臨まれますように。 【吸って】キリストの御霊で満たしてください。 【吐いて】3つの呪いを解決する力が臨まれますように。 【吸って】助け主聖霊様で満たしてください。 【吐いて】聖霊様の力が臨まれますように。 【吸って】3つの超越の力で満たしてください。 【吐いて】御座の祝福・時空間を超える 237 の光の力が臨まれますように。 【吸って】3つのいのちで満たしてください。 【吐いて】神の形・いのちの息・エデンの園の祝福が臨まれますように。 【吸って】3つの空前絶後の祝福で満たしてください。 【吐いて】空前絶後の私・教会・タラントが回復されますように。 【吸って】3つの時代の祝福で満たしてください。 【吐いて】牧師・重職者・レムナントの時代を味わう祝福をください。
契約の祈り (主日礼拝)	1. 真の幸せがなく飢え渴いていた私を、生ける水であるイエス・キリストが救ってくださり、永遠な幸せがあふれるいのちをくださったことを感謝します。 2. イエス・キリストがどんな食物よりも大事な伝道を任せてくださり、私の伝道を通してたくさんの飢え渴いた人々が救われることを信じます。 3. 自分が現場の伝道者であることを信じて、救いの幸せと伝道の祝福を 24 時味わい、至急な伝道運動のために生きる伝道者になりますように。
お知らせ	1、東北地域教会設立感謝記念礼拝 11月3日 仙台教会 2、青年修練会 11月23日 オンライン開催、担当:李信永伝道師 3、福音宣教教会創立記念礼拝 12月4日(主日)
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 ／ 2部礼拝 10:00 ／ 3部礼拝 12:00	